

【連載】**こどももの**
すくすく
カルテ
 21



幼児の目の注意点

①

幼児たちは、ものを見ることで色々カタチを感じとり、動きを知り、物事の楽しさなどを覚えていきます。心身ともに健康的に成長してゆく上で、視力はとても大切なものです。学習や運動のためにも健全な発達には欠かせません。しかし、大人と違って、幼児たちの目は柔らかく傷つきやすいためです。そして、視覚に多少の異常があっても上手に教えることができます。今回は、幼児期における目のことについて、注意点を話します。

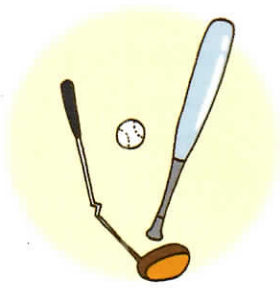


今月の先生：松久充子先生
 医療法人 橘桜会
 さくら眼科 院長

柔らかいから危険がいっぱい！

幼児は、眼球や眼窩壁（がんかへき・眼球を取り囲んでいる骨）が薄く柔らかいために、固いものが当たると、眼球が破裂したり眼窩壁が骨折したりしやすいので注意が必要です。

30年ほど前になりますが、玄関においてあった父親のゴルフクラブをスイングした時、遊びに来ていた友達に眼に当たってしまって、片方の眼球を破裂させてしまい、その治療のために眼球を摘出せざるを得なかったという、とても悲惨な経験があります。ゴルフクラブは使い方によって簡単に凶器になりますから、子供が勝手に触れることができる場所に置かないようにしましょう。テニスのラケット、野球のバット、大人の傘、ホウキやモップの柄も注意が



必要です。

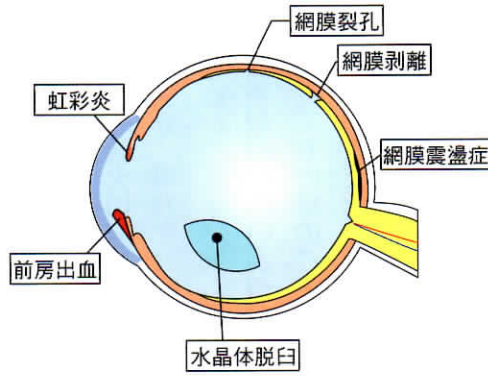
また、おもちゃのピストルやショットガンも非常に危険です。弾が眼球に当たると、眼球が破裂する、角膜が切れる、水晶体が脱臼する、眼内出血するなど、場合によっては視力に重大な障害を及ぼす結果になることがあります。玩具のパチンコのように、硬い球をゴムで飛ばすようなものも同様です。



小児の眼窩壁は薄く柔らかいため、サッカーやテニス、野球のボールなどが眼部にあたると眼窩壁を骨折することがあります。眼窩壁の骨折した部分に外眼筋（がいがんきん・眼球の向きを変える筋肉）が入り込むと眼球がうまく



動かなくなってもものが二重に見えるようになり、手術や治療が必要となります。眉毛のところの打撲では視束骨折が起こりやすく、その場合は緊急手術をしないと失明してしまいます。眼部を打撲した時には、必ず眼科を受診して検査を受けましょう。



異常を上手に教えられません。

最近の症例ですが、3歳のころに眉毛のすぐ下の瞼を打ってケガをしたため外科で縫合した子がいました。その2年後に、たまたま眼科を受診した時、瞼にケガをした方の視力が0.01しかありませんでした。園での健康診断時の視力検査は実施されておらず、保護者を含め誰もその子の視力や眼位(が)んい・目の位

(置)の異常に気がついていなかったのです。おそらく、ケガをしたときに眼窩壁が骨折して眼球運動の上方に異常があり、さらに瞼の腫れもあって、眼は視性刺激遮断弱視(しせいしげきしゃだんじやくし・視覚的な刺激が入らないことから起こる弱視)になってしまったかと思えます。眼球運動の回復には手術が必要でしたが、視力が良い方の目を隠して、視力の悪い方の目の能力を上げる訓練する治療を一年以上続けることになりました。もし眼科を受診して視力検査をしていなければ、その子は、生涯弱視になることでした。

このように幼児は目の異常に対する自覚症状が乏しいため、周りが異常に気が付いたときにはすでに手遅れになっていることも少なくありません。
幼児の目の異常を見つけてみましょう。
顔を左右どちらかに傾ける・回す、顎をあげてみる、目つきがおかしい、目を細めてみる、極端に近づいてみる、屋外に出るとまぶしがる・片目をつぶる、片目をかくすと異常に嫌がる、充血する、涙目が続く、目ヤニが多い、目の奥が白く光るなどに気が付いたら、早めには眼科受診をするをお勧めします。

目を細める

目が光る

正面のものを横目で見る

正面から黒目がズレている

こんな様子が
見られたら
要注意!!

片方の目をかくすと
嫌がる

ひんぱんに
目をこする

ゴシッ
ゴシッ

テレビなどに
近づいてみる

健康診断時の視力検査は大切!

年に1回、健康診断時に視力検査を実施してください。生まれつき左右の眼の度数が違つために起こる不同視弱視は視力検査で発見されることがほとんどです、保護者は気がついていません。

幼児は視機能(視力・両眼視機能)の発達過程にいますので、視機能に影響を及ぼしている疾患は視覚感受性期間(6歳ころ)までに治療をしないと弱視になり、その後ずっとハンディを負つことになってしまいます。



**運動場のライン引きに
消石灰を使用すると危険。**

運動場のライン引きに消石灰を使用することは危険です。消石灰は強アルカリ性のため結膜囊(けつまくのう)に入ると重大な角結膜障害を発生し、視力障害を起こすことがあります。スポーツ用品店では、比較

的安全な炭酸カルシウムがライン引き用として販売されています。

レーザービームの扱いに注意



レーザービームを直接眼に当たったりのぞき込んだりすると、網膜の中心部にある一番大切な黄斑部が火傷になり、生涯、視力を回復することができなくなります。決してレーザービームを直接見ないようにして下さい。日蝕でも同様のことが起こりますので専用の眼鏡が必要です。



目に入ったゴミは…

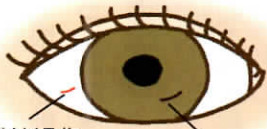
目に入ったゴミは、通常は反射的にでる涙と瞬きで、眼の外に排出されます。肉眼で見つかる

ことは難しいので、人工涙液（涙液に近い成分になるように作られた点眼薬）を点眼して流すと取れることもあります。上眼瞼の裏に引っかかる簡単なには取れません。手で擦らずに眼科で取ってもらいましょう。

目の傷は…

手に持っていた紙や、急に振り向いた時に近くにいた友達の持ついた鉛筆などで、目に傷をつけることがあります。多くは軽度ですが、必ず眼科で見てもう一度よくじっくり

下さい。



結膜擦過傷 角膜擦過傷

親が「認知症」になると、

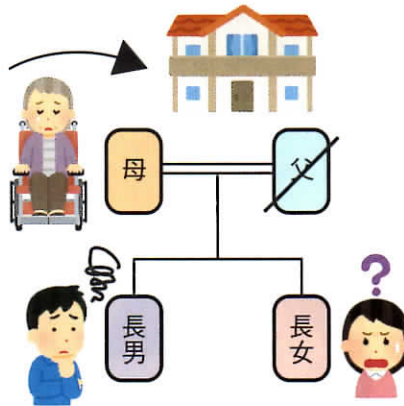
自宅は売れる？売れない？

次のような場合、自宅を売ることができるでしょうか？

静岡市内に住むAさんは夫に先立たれ、気力体力が衰えてきました。離れて暮らしている息子のB男さんと娘のC子さんは、「施設への入所」を検討することにしました。

そんな矢先にAさんが重症を患って入院し、その後認知症を発症してしまったのです。B男さんとC子さんは、入院費用にAさんの貯金を充てようとしたが、どこにAさんの通帳があるのか分からず、銀行に行っても本人でないと預貯金などの引き出しなどができないと言われました。

そこで、空き家になったAさん所有の自宅を売ろうと考えたのですが…。



入院し認知症になったため家を売りたいけど…

さて、Aさんのために売ろうとしているこの家、果たして売ることができるでしょうか？
あなたはどう思いますか？

答えは、

「認知症対策」には「家族信託」です。

不動産なんでも相談窓口



マイベストフロ 静岡

静岡新聞

静岡新聞社の専門家紹介サイトでただ今掲載中!



株式会社

おだやかな暮らしをデザイン

あいしん不動産

静岡県静岡市駿河区大谷1丁目9番8号

054-269-5525